



9月議会号
NO.29

ディスカッション DISCUSSION

20/10/5

100mm

議会・議員のあり方とは
一般質問『修学旅行』など
せいじカフェ ～長岡京市の今～
全国初! 国への意見書
同性婚の法制化に関する議論の促進を求める意見書

選挙の時だけ耳当たりの良い事を言うのではなく
政策を『実現する』議員を選ぶべきではないのか
議論し、行動する議会を目指し取り組みます!

代表

富田 達也

とみた たつや

京都学園幼稚園・長五小学校・長四中学校・向陽高校を卒業。龍谷大学法学部を卒業後、司法書士事務所にて営業職として正社員勤務する。政治家一本を目指すために退職し、2013年に1104票で初当選。2017年には1452票で再当選。総務産業常任委員会・副委員長。関西若手議員の会・元会長。近畿市民派議員。公益社団法人乙訓青年会議所。

市に 性の多様性社会の実現へ 提言書

性の多様性社会実現へ向けて、議会の
総意で長岡京市に提言しました。

社会には様々な「違い」が存在し、その「違い」を互いに認め、尊重し合うことが多様性社会の実現につながります。そのような中、性的マイノリティは未だに社会の多数派と異なるものだと差別や偏見を受ける対象となっている現状があります。長岡京市議会として、性の多様性社会を検討し、議会の総意で長岡京市に下記の3点を提言しました。

- ① パートナーシップ制度の導入
- ② LGBTリーディングカンパニー制度の導入
- ③ 教育における性の多様性社会実現へ向けた施策の充実

※提言書全文(長岡京市ホームページを下記の通りお調べ下さい)
長岡京市議会 - 議会情報 - 議員政策研究会 - 性の多様性社会研究分科会



国に 全国初! 国は議論の促進を! 意見書

全会一致で同性婚に関する議論の促進
を求める意見書を国に提出しました。

長岡京市に提言した同性カップルを公的に認定する「パートナーシップ制度」では法的に解決できない問題があるため、抜本的解決策として国が同性婚の法制化に関して『議論する事』を求める意見書を国に提出しました。分科会設置当初は意見書や提言書を作成できるとは考えていませんでしたが、メンバーの皆さんに助けられ、何とか全会一致で提出する事ができ、分科会会長として本当に嬉しく感じています。

【政策研究会・分科会メンバー(敬称略)】
富田達也(会長)、小原明大(副会長)、
西條利洋、小野洋史、宮小路康文、住田初恵
白石多津子、寺嶋智美、浜野利夫、石井啓子

100mm

政治家と気軽に長岡京市政や議会について話そう!

せいじカフェ

コロナ対策のため
定員15名

議会の情報等をリアルタイムで提供します。
密を避けつつ、リアル開催を致します。
※急遽変更する可能性がありますので、Facebookや公式
LINEを必ずご確認ください

日時: 11月14日(土) 10~12時
12月19日(土) 10~12時
場所: バンビオ4階 学習室1(両日とも)
費用: 無料(コロナ対策のため茶菓子は提供致しません)

公式LINEで情報共有中!

『LINE』で簡単に登録できます!
ホーム画面から赤丸で『QRコード』をタッチ 下記のQRコードを
囲ったロゴをタッチ 読み取る



97mm (内側に折り込む面)



【発行者】ディスカッション!長岡京!!
住所: 長岡京市花山1丁目54番地 HP: tomita-tatsuya.com
連絡先: 070-5503-0011 Mail: tommytatsu@gmail.com

検索は...
富田達也 検索

総括 質疑

予算や決算審議において、一定の範囲で審議を分科会に分けていることから、全般的に質疑が行える場として総括質疑があります。🌸🗨️ = 議論達成度

富田の質問

長岡京市の答弁

提案・意見



小規模保育の
受け皿対策

4月に省令が改正されたが、小規模保育所の受け皿の拡大を目指すのか、受け皿の無い卒園児は優先的な取り扱いをするのか？

令和6年まで猶予はあるものの、連携施設の設定を今後も取り組む。また、受け皿の無い卒園児は優先的な取り扱いをする。🌸

受け皿の無い小規模保育所に通っている家庭は次の保活に対して非常に不安を感じているため、分かりやすい取り組みが必要。



アプリを
1つに統合
すべきでは

本市には複数のアプリが存在するが、コスト的にも市民の使い勝手としても、LINEに統合していくべきではないのか？

今後、市公式のLINEアカウントをポータル(入口)として位置づけ、多様な機能を付加し、事業効果の高い展開を目指す。🌸

市民の利便性と業務の効率化のために、デジタルでもワンストップ化し、申請等もデジタルで対応できるように取り組む事が必要。

A'

一般 質問

一般質問とは、議員が議会において、事業の状況や将来の方針、政策提言や行政の課題等を行政に対して直接質問できる場です。🌸🗨️ = 議論達成度

富田の質問

長岡京市の答弁

提案・意見



公平で競争性
のある
入札と契約

1社応札や落札率が100%となっている事例があるが、平成27年の収賄事件からどのように競争性を担保しているのか？

電子入札を導入しているため1社応札であっても競争性は担保されている。今後も多くの業者に参加して頂くよう取り組む。🗨️

問題は入札参加業者の少なさであり、入札参加業者の増加を目指し、適正な競争が行われるよう条件の緩和等を検討すべき。



子ども主体の
事業実施を

教育の一環として、コロナ禍における事業実施の有無について、子ども達自身で議論し、決定できる場を作るべきはなかったのか？

学校行事については学校が責任をもって判断すべきであり、児童の安全性を一番に考え、修学旅行は中止とした。🗨️

子ども達が自ら調べ、検討し、結論を出す事は民主主義を学ぶ良い機会であり、事業実施の有無の議論に参加させるべきだった。

B'

議会・議員のあり方とは？ 議員はもっと議論すべき！

長岡京市は議会運営委員会という場で議会改革について議論しています。その議会改革について、私は会派「輝」を通じて『議員・議会のあり方』について議会改革項目の1つに入れて議論するよう要請しました。その真意は議員報酬や定数といった目に見えるものだけでなく、議員の仕事とはそもそも何なのか、という事を議員自身が議論すべきだと思ったからです。「議員の仕事は何なのか」を定義付けられ、定量化できさえすれば、議員報酬や議員定数の結論はおのずと見えてきます。私は以前から「身を切る改革」は真の改革ではないと論じてきました。真の議会改革とは議員が真面目に、まっとうに議会で働き、市民に対してしっかりと成果を示す事だと思って

います。そもそも身を切るという事は自ら仕事をしていないと言っているようなものです。議員報酬は仕事に対する「対価」であり、報酬以上の仕事をすれば市民としても反対はないのではないのでしょうか。

9月議会で性の多様性に関する意見書と提言書を提出しました。議員同士での議論を活発化させ政策形成を行えば、今回のように「議会全体」で政策を進めていくことが可能です。一方通行ではなく、深い議論を繰り返すことにより議会として行動する事ができ、結果として行政を大きく動かす原動力となります。今後も議会で議論をしっかりと行い、市民に示せる成果を出せるよう精一杯努力します。



長岡京市議会議員
富田 達也

C'